

令和6年能登半島地震支援 現地視察を実施

8月16日（金）～20日（火）に、能登半島地震の現在の被害・支援状況の視察のため、山越教雄事務次長と安勝熙平和推進部長を派遣した。被害の大きい奥能登に位置する能登町や輪島市も訪ね、WCRP日本委員会が支援を行なう団体や現地で活動する団体から状況を聞いた。主な訪問先は以下の通り。

1. 能登ルネッサンスプロジェクト／七尾市

日本委員会が支援を行なっている、食事マイノリティー支援事業を行なう能登ルネッサンスプロジェクトの山崎香織代表を訪ねた。

いま能登に何が必要ですかとの問いに、「夢と希望。ある程度インフラが復旧し、欲しいものが手に入るようになった今、もっと能登をよくしてくれる人、よくなるとビジョンを語ってくれる人」が必要と答えた。



2. カフェデモンク／志賀町

日本委員会が支援を行なう中部臨床宗教師会（会長：坂野大徹師）が開設している傾聴カフェを訪ねた。13時から2時間ほどの間に仮設住宅で暮らす男女20名ほどが訪れ、坂野会長らと交えて和やかに懇談されていた。



3. 被災地NGO協働センター／七尾市中島町

被災地NGO協働センターは、新宗連と連携しボランティアの受け入れを行うなど、この地域の被災者の支援活動にあたっている。



4. 能登町社会福祉協議会・ボランティアセンター／能登町

浜田孝昭次長に話を伺った。現在能登町では、避難所は数名が利用するのみとなり、地域に残った被災者は仮設住宅か在宅をしているという。仮設住宅は14カ所、約600棟建設され、一定のめどが立った状況ではあるという。



5. 輪島朝市・重蔵神社／輪島市

朝市のほど近くに位置する重蔵神社も大きな損傷を受け、宗教儀式・行事を行なえる状態ではない。朝市周辺の公費解体が3週間前から始まった状況で、この周辺は手つかずとの印象を受ける。



6. 認定 NPO 法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク (JVOD) ／石川県庁 (金沢市)

JVODE は、東日本大震災での教訓をもとに、災害時に支援に入る NGO 団体間の連携・コーディネーションを行うことを目的に 2016 年に設立された団体。47 都道府県中 21 都道府県に地域連絡会が組織されている。発災時、残念ながら石川県には連絡会は設置されていなかったが、JVODE が中心となり県・市町と NGO 団体との連携・調整機能を担っている。

7. その他

七尾市中心地から車で数分にある「山の寺寺院群」を訪ねた。16カ寺が点在するが多くの寺院が山門や本堂などに大きな損傷を受けている。奥能登地域では、伝統ある多くの宗教施設にこのような被害があるものと思われるが、象徴的なエリアである。



以上